

第2回区政会議(平成31年3月6日)

いただいた意見				対応状況							
番号	部会	意見	委員名	担当課	①		②		③	④	対応内容
					令和元年度対応	予算措置	令和2年度対応	予算措置	年度では対応できないが今後引き続き検討	対応困難又は対応不可	
1	にぎわい・きずな	「企業区民連携フォーラム」について、非常に期待している。ことに留学生の参加は、大いに進めてもらいたい。 「ひがしなりソケットLAB.」など、漠然としているので、具体的なものを案内され、委員が参加できればよいのではないかな。	藤溪委員ほか3名 〔阿形委員、中谷委員、吉本委員〕	総務課	○	あり					- 東成区では、平成30年3月、東成区で事業を営む企業や各種法人の皆さまのCSR活動やSDGs（持続可能な開発目標）への貢献に向けた活動を支援することを目的として「ひがしなり企業区民連携フォーラム」を立ち上げています。あわせて同年4月には、このフォーラムを持続的な社会運動として“育てる”ためのプロジェクトとして「ひがしなりソケット」を開始しました。 - 今年度は「ひがしなりソケットLAB.」1期生によるプロジェクトの実施並びに2期生募集を行うとともに、経済戦略局と連携し留学生が参加、参画する多文化共生の取組みとして展開していきます。また、一般の皆さまを対象に、6月23日（日）「KICKOFF（キックオフ）！ひがしなりソケット2019」の開催も予定しており、広く活動を周知いたします。
2	にぎわい・きずな	「東成区の地域資源」魅力発信事業について、企業の方より、今後はできるだけ町の人に見学等、イベント等、たくさん来ていただくように考えていきたいという話があった。 - 東成区はモノづくりのまちであるので、まちの活性化のためにも、この取組みに期待したい。	藤溪委員ほか2名 〔井上委員、中谷委員〕	市民協働課	○	あり					東成区は「モノづくり」にスポットをあて、「東成こどもモノづくり体験フェスタ」や「わが町工場見てみ隊」等の取組みを行っています。まちの活性化につながるよう、モノづくり企業等の皆さま方と連携しながら、引き続き「モノづくり」を活かした取組みを行います。
3	にぎわい・きずな	3月16日にこの区民センターで行われる「東成こどもモノづくり体験フェスタ」に去年参加したところ、なかなかいい企画であった。 『東成区伝統工芸活用事業の取組みとなっている』管(すげ)細工体験なども参加できるので、委員の皆さんも、見学参加されてはどうか。	藤溪委員ほか2名 〔井上委員、中谷委員〕	市民協働課	○	あり					- 今年度についても、次世代を担う子どもたちに「東成区の地域資源」であるモノづくりに関わる機会を提供するための体験型イベント「東成こどもモノづくり体験フェスタ」を開催する予定です。 - このイベントは、広く区民の皆さまに参加してもらえるよう、区広報紙やSNS等を活用した情報発信に努めます。イベント開催時には、委員の皆さまもぜひご見学ください。
4	にぎわい・きずな	11連合のうち8連合が取り組まれている「市民協働による地域課題解決に向けた活動の活性化事業」は、地域のつながりの希薄化や活動の担い手確保など、地域共通の課題の解決に向けた取組みである。 - 来年度も継続にあたり、今後、どのようなイベントをとか、どう活性化づくりを見ていったらいいかということで、各連合で創意工夫され、さらなる前進が期待されるのではないかな。	藤溪委員ほか1名 〔井上委員〕	市民協働課	○	あり					- この事業は、まちの課題の解決に向けた活動の活性化を図る取組みとして平成30年度より2カ年計画で実施しています。 - 昨年度は、8地域で地域団体等が持つ発想や資源、ノウハウを活かした効果的な取組みを実施しました。今年度も、引き続き地域団体等からの企画にもとづき実施するとともに、区との協働事業とすることでより効果的な事業となるよう取り組んでいきます。
5	にぎわい・きずな	「東成区の伝統工芸活用事業」で取り上げる管細工について、映像化されるとのことで、皆期待しているので、各連合にも配られてはいかがかな。 - また、深江地域では、管(すげ)細工体験教室を、週1回で4か月かけて取り組んでおられる。3月のモノづくり体験フェスタでも体験教室はあるが、見学に行かせてもらってはどうか。	藤溪委員	市民協働課	○	あり					- 今年度新たに、東成区の伝統工芸である「管細工」のPR映像を製作し、区内外へ発信を行うため、WEB上での配信や区内小中学校等へのDVDの配布を予定しています。また、各連合へのDVD配布についても、今後検討していきます。 - さらに、広く区民の皆さまに参加してもらえるよう、東成区民センターで「管細工教室」を開催する予定としており、区広報紙やSNS等を活用した情報発信に努めます。教室開催時には、委員の皆さまもぜひご見学ください。
6	にぎわい・きずな	「子どもたちと体験するSDGs事業（新規事業）」では、間伐材を使った木工体験教室などいろいろな体験フェスタが企画されている。 - 本事業は、SDGsのための新規事業でもあるので大変期待しており、広報等でPRされるとのことなので、委員の皆さんも見学にも起こしされてはどうか。	藤溪委員ほか2名 〔中谷委員〕	総務課 市民協働課	○	あり					- 今年新たに、子どもたちや保護者を対象に、森林環境保全やSDGs（持続可能な開発目標）の理解を深めてもらえるよう、東成区民センターや身近な公園などで森林にまつわる体験学習や東成区役所内のふれ愛バンジーで木工体験教室を実施します。 - 新規事業ですので、学校を通じて区内小学校全児童に対して開催案内の配布を行うとともに、区広報紙やSNS等を活用した情報発信にも努めます。イベント開催時には、委員の皆さまも、ぜひご見学ください。
7	にぎわい・きずな	- 商店街の活性化について、最近どこの商店街でもシャッターがおりたままというところが多くなってきている。 - 深江連合ではそういった商店街を何とか活性化する取組みが4月29日計画されている。かなり頑張っておられる取組みとのことなので、皆さんも見学されてはどうか。	藤溪委員ほか2名 〔松田委員、高橋委員〕	市民協働課	○	—					- 深江地域において、4月29日（月・祝）に商店街（深江新道筋）の空き店舗を活用した「笠まる市」が開催されました。昭和の時代を懐かしみ、深江の商店街を1日だけ復活させる一大イベントでしたが、他地域の方々も多く参加され、活気にあふれていました。 - 区役所としても、このような地域の取組みについても、SNS等通じて情報発信に努めます。
8	にぎわい・きずな	- 区政会議に出て、初めて知るイベントがたくさんあった。 - 各地域いろんなイベントをやっているのので、チラシができるタイミングが異なるが、年に何回か委員に情報提供をしていただければ、お互いに知ることができるのではないかな。	藤溪委員ほか2名 〔井上委員、中谷委員〕	総務課	○	—					東成区では、毎月初めに発行している広報紙「ひがしなりだより」をはじめ、区ホームページや区内広報板において、区政情報を発信しています。また、SNS（ツイッター、フェイスブック等）など様々な媒体で周知しております。委員の皆さまに、積極的に情報収集していただけるよう、区政会議の開催時期などのタイミングをとらえて、区役所で実施しているイベントについてもご紹介していきます。

いただいた意見				対応状況							
番号	部会	意見	委員名	担当課	①		②		③	④	対応内容
					令和元年度対応	予算措置	令和2年度対応	予算措置	年度では対応できないが今後引き続き検討	対応困難又は対応不可	
9	子ども・教育	「地域におけるプログラミング教育支援事業（新規事業）」では、実施時期はいつか、夏休みなのか、対象者は誰かなど、これから詳しく決まるということである。 - 実施にあたっては、区役所と学校でよく相談されて、委員にも内容を教えていただきたい。	田中委員ほか3名 〔茶谷委員、東方委員〕	市民協働課	○	あり					- この事業は、プログラミングのソフトである「スクラッチ」を用いた「スクラッチでオリジナルゲームを作ろう（制作講座）」と「ロボットプログラミング教室及び支援ボランティア育成講座」を区内2小学校でそれぞれ実施予定としています。受講対象者は「スクラッチ～」は4～6年生の児童、「ロボット～」は6年生の児童及び保護者を中心とした地域住民となります。実施時期はいずれも夏休みに課外授業としての実施を予定しています。 - 今年度はモデル事業として実施し、効果検証しながら事業内容を好事例として各学校とも共有します。受託事業者は4月に公募し、6月に決定いたします。事業が円滑に実施されるよう、区役所と学校、事業者で連携を図ります。
10	子ども・教育	- 子どもの体力向上事業について、アスリートが学校で子どもたちに水泳や走り方、鉄棒等を教える取組みであるが、去年と今年を比較して、どれだけうまくなったかなどについて、なかなかわかりにくい。 - 全国や大阪市でも子どもの体力測定の結果が出されていることから、この事業による体力向上について、何か検証されてはどうか。	田中委員ほか5名 〔末光委員、東方委員、永門委員、鍋田委員、藤井委員〕	市民協働課	○	あり					- 国が実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は、国の調査方法として「小学5年生」「中学2年生」のみを対象としているものであり、結果について経年で比較することが出来ません。そのため、児童から「関心」「技能」「理解」などの項目を設定したアンケートを取るなどにより総合的に事業評価を行います。 - 本事業の目的は、区が学校教育のサポートを行うという役割分担のもと、限られた種目・時間数の中でも児童が運動やスポーツに取り組むきっかけとして運動の楽しさや達成感を得ることです。また、専門知識を持った事業者の指導ノウハウを教員が活用することにより、児童の体力向上に繋げていくことも目的としています。 - 学校へのアンケートでは、「実技指導について」の項目と「今後の授業で活かせる」の項目についてどちらも95%以上の肯定的な回答を得ております。学校が求める種目の聞き取りなど意向を反映しながら事業実施できるよう、区役所と学校、事業者で連携を図ります。
11	子ども・教育	すすく・つながるクラブについて、部会意見をすぐに実行に移したことで、広報紙の掲載を通じて、区民、商店へのPRを行い、協賛店舗の大幅拡大につながるなど、結果が出たことは部会委員にとってもやりがいにつながった。	田中委員ほか2名 〔福永委員〕	保健福祉課	○	あり					- 部会でいただいた様々なご意見やアイディアにつきましては、真摯に受けとめ実行に向けた検討を行いますので、引き続き関連なご議論をお願いいたします。 - また、すすく・つながるクラブの協賛店舗の拡大は、地域の中で子育て家庭を見守って頂ける場所が増え、子育てしやすい環境の広がりにつながっていくものと考えていますので、引き続き拡大を目指します。
12	保健福祉	- 担い手が高齢化し、世話する人もされる人もみな高齢化が進んでいる。そのような状況の中で、地域活動や百歳体操などの健康づくりは、介護予防にもつながる取組みに男性の参加を促進していく必要がある。 - 例えば将棋など、男性がしたいこと等を取り入れたり、お誘いをする事が参加のきっかけになり、地域とつながったという報告も出された。取組みに決め手はないが、一つずつ工夫して、男性の一人きりを少なくしたいという意見が多く出された。	石塚委員ほか8名 〔大谷委員、下村委員、徳永委員、羽鹿委員、本間委員、三枝委員、森井委員、米原委員〕	保健福祉課	○	あり					- 地域福祉活動の参加者や担い手については、固定化や高齢化、男性の参加が少ないことなどにより、次の担い手確保が課題となっています。 - そういった中、東成区の各地域では、将棋や囲碁、男性による調理実習など、男性が参加しやすく、参加者同士の交流が深まる活動が増えてきており、また、百歳体操についても、これまでの取組みに加え、男性を含む新規参加を促すため、銭湯での開催なども企画しています。 - 今後も、このような取組みが広がり、男性の単身高齢者の参加や担い手の増加につながるよう、区の事業である「高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業」を通じ、各地域の方々、東成区役所、東成区社会福祉協議会が協働し地域福祉活動の活性化を推進します。
13	保健福祉	- おまもりネット手帳について、せっかくの手帳があっても中身の更新がされていないと宝の持ち腐れである。数を増やすことも大事だが、それ以上に内容を正しく更新していく努力が必要である。 - 手帳の更新について誰が担うのか、担い手の問題になるが、しっかり更新していくシステムをどうやってつくっていくのか。	石塚委員ほか2名 〔林委員〕	保健福祉課	○	あり					- おまもりネット手帳につきましては、新規発行（加入）の促進に合わせ、記載内容に変更・追加があった際の更新が大切であると考えています。 - 今年度は、新たにおまもりネット手帳編綴用のスケジュール帳や名刺ホルダーを作成し、同ツールを地域行事の場等で配布する際に更新の案内を行っています。またこれと合わせ、各種高齢者向け講座や講演会等の場において更新の案内を行うなど、幅広く働きかけています。
14	にぎわい・きずな 保健福祉	横文字が多過ぎてなかなか理解をするのがしんどい。	藤溪委員ほか3名 〔中谷委員、石塚委員、林委員〕	総務課	○	—					- これまでも、横文字等が多い、理解しづらい、というご意見をいただいております。注釈や補足説明を付けるなど、わかり易くする工夫を行ってききましたが、まだわかりにくいというご意見と受けとめております。 - 今後、わかり易い説明や資料となりますよう、より一層工夫していきます。